

2013 年 1 月 23 日

東京大学大学院農学生命科学研究科
農学における情報利用ゼミナール
登録者および受講希望者各位

東京大学大学院農学生命科学研究科
農学における情報利用研究フォーラム
グループ事務局長 溝口勝

飯舘村現場見学会について

「農学における情報利用ゼミナール演習」として、福島県飯舘村の現場見学会を実施します。この見学会では、村内数か所の農地を視察し、IT を用いた農地の放射線モニタリングについて学びます。また、村民の方との意見交換を予定しております。ゼミナール登録者および受講希望者（必ずしもゼミナール未登録者でも良い）は、1 月 31 日 17:00 までにアグリコクーン事務局（農学部 3 号館産官学民連携室）の参加者リストに記名してください。以下のメールで先着 10 名まで受付けます。（東大以外の学生でも可）

アグリコクーン事務局 office@agc.a.u-tokyo.ac.jp

必要情報： 氏名、所属、メールアドレス、携帯電話番号

記

日時： 2013 年 2 月 2 日・3 日（土曜日・日曜日）

場所： 福島県飯舘村佐須滑 8 7
（菅野宗夫さん宅）

スケジュール（案）：

2 月 2 日（土曜日）

8:00 東大農学部 3 号館前集合

8:10 東大発 （マイクロバス）

14:00 飯舘村現地着 （移動途中で昼食）

14:30 農地モニタリング機器の見学

15:30 村内の農地視察

17:30 宿泊所到着（伊達市内予定）

18:30 夕食

19:30 農地モニタリング講義

22:00 就寝

2月3日（日曜日）

7:30 朝食

8:30 宿泊所発

9:00 飯舘村現地着

村民との対話

11:00 飯舘村発

17:00 大学着（途中昼食）

【参加費】

宿泊費（5千円程度）と昼食代

【宿泊場所】

福島県伊達市内の宿泊施設（参加人数確定後予約予定）

【持参すべきもの】

おとまりセotto一式（寝着、タオル、着替え）

汚れてもよい服（運動着、作業着など。防水加工だとおよい）

長靴、防寒着（とても寒い）

【問合せ先・連絡先】 溝口勝（ amizo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp ）

【予習】

福島再生の会の活動：<http://www.fukushima-saisei.jp/>

読売新聞記事：<http://ow.ly/hhphv>

河北新報記事：<http://ow.ly/hhq4Z>

農水省プレスリリース：http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kokumotu/130129_1.html

http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kokumotu/pdf/130129_1-01.pdf

http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kokumotu/pdf/130129_1-02.pdf

【報告書】

見学会に参加後、報告書をA4で2枚以上（書式自由）提出すること。

匿名とした後、HPに掲載します。（参考資料）

以上

農学における情報利用ゼミナール

科目番号: 12134
授業科目名: 農学における情報利用ゼミナール
担当教員: 大政謙次（生物・環境工学専攻教授）
溝口勝（情報学環教授/農学国際専攻）
学期・単位: 冬・1

○学修目標：

農学分野で情報通信技術（ICT）を積極的に導入している現場を見学することにより、大学（農学系研究科）として取り組むべき研究課題を掘り起こす。

○授業の方法・内容：

生産・流通・加工・消費の現場を選定し、現地見学会を実施する。現場で働く人々と大学院生との対話を通して、現場の抱えている行政的・技術的問題を整理する。

○成績評価基準：

現場見学会および勉強会への出席、それに関連するレポート提出に基づいて成績評価を行う。

参考資料：

1. アグリコクーン「農学における情報利用研究フォーラムグループ」TOP ページ
<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/fg5/top.html>
2. 「食の流通現場見学会」 報告
<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/info/080805-6.html>
3. 「食の流通現場見学会」 学生レポート
<http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/lecture/agc-info/>